

# 第11回 演奏者からの提言 ～邦楽家のソルフェージュ～

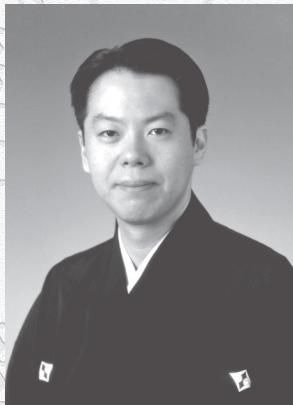
日本を代表する演奏家による「演奏者とソルフェージュ」の関係を探るシリーズ。第11回は邦楽という、西洋音楽を支える基盤であるソルフェージュとは一見無縁とも思える世界でのソルフェージュの理念、実践について語って頂きます。口伝をベースとする邦楽の、知られざる神秘の世界は明かされるのでしょうか？ 興味は尽きません。9月のシンポジウムから始まったWeb配信ですが、是非お見逃し無きよう、皆様のご視聴をお待ち申し上げております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

収録：東京音楽大学中日黒・代官山キャンパス

Web配信期間：

2021年2月6日(土)20:00～3月8日(月)10:00まで



今藤 長龍郎 Chotatsuro IMAFUJI

長唄三味線演奏家・作曲家。1969年生まれ。4歳でピアノと出会い作曲も小学生時に学ぶ。79年、今藤綾子師入門。85年今藤長龍郎の名前を許される。91年東京藝術大学邦楽科長唄三味線専攻卒業。並行して父今藤尚之、叔父藤舎名生にも師事。以後、歌舞伎公演、日舞公演、長唄演奏会などで活動している。作曲も手がけており、「獅子王」(2016年、市川染五郎(現 松本幸四郎))など多数。元 東京藝術大学非常勤講師。現 国立音楽大学非常勤講師。



藤原 道山 Douzan FUJIWARA

初代山本邦山に師事。東京藝術大学卒業、大学院音楽研究科修了。CD、映像作品等多数リリース。伝統音楽の活動を積極的に行うと共に、映画音楽、舞台音楽、吉永小百合氏の朗読アルバムの音楽監修など手がける。NHK「にっぽんの芸能」のテーマ音楽演奏、「にほんごであそぼ」にレギュラー出演。小・中学音楽教科書(教育芸術社)の執筆、邦楽ジャーナルの連載など執筆活動。若手尺八奏者との「風雅竹韻」などのユニット活動、後進の指導にも力を注ぐ。現在、都山流尺八楽会所属大師範。「曠の会」同人。徳島文理大学客員教授。



真鍋 尚之 Naoyuki MANABE

作曲家・雅楽演奏家。洗足学園大学(専攻/作曲・声楽)および東京藝術大学邦楽科雅楽専攻卒業。作曲および演奏での受賞多数。伝統に根ざしながら独奏楽器としての笙の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で笙の魅力を飛躍的に発展させた。文化庁文化交流使としてドイツを中心に笙の新しい可能性を追求した作品を作るための共同作業を行った。活動は日本のみならずヨーロッパや中南米におよぶ。



モデレーター  
時松 綾 Aya TOKIMATSU

幼稚園で西洋音楽に触れ五歳よりピアノを始める。ピアノ・楽典・ソルフェージュ等を大倉恭子に師事。ピアノを角野裕・榊原道子各氏に師事。東京藝術大学ソルフェージュ科非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会会員。三歳より生田流箏曲、十歳より地歌(三味線)を祖母に手ほどきを受ける。東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流専攻卒業、同大学院修了。NHK邦楽技能者育成会卒業。オーケストラアジアを経て現在邦楽創集団オーラJ団員。

視聴は以下の会員ログインのURL もしくは右下のQRコードからお入りください。

<http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php>

会員ログイン用QRコード

## ●問い合わせ先

日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)

E-mail: [ni.sol.ken@gmail.com](mailto:ni.sol.ken@gmail.com)

<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

Homepage



facebook

